

10月7日（月）

絶望的な状況での祈り

聖書朗読 詩篇 142編

私の叫びに耳を留めてください。私はひどく、おとしめられていますから。どうか、私を迫害する者から救い出してください。彼らは私よりも強いのです。

詩篇 142：6

絶望的な状況は熱烈な祈りへと導きます。集中治療室（ICU）の娘のベッドの傍らで、私はひざまずき、言葉づかいなど気にする余地もなく、形式的であるか、慣習的であるか、他の人にどう思われるかなど気にせず祈りました。それは即座の、衝動的な、絶望的な状況での祈りでした。

詩篇142編での絶望的な祈りは「声をあげ、主に向かって叫び、憐れみをもとめ、私の悩みを注ぎ出し、苦しみを訴える」ものでした。しかしダビデは絶望感の中、誰に助けを求めたらよいのかを知っていました。つまり、憐み深い主、助ける御手を差し伸べてくださる神を知っていました。そしてダビデは祈りが答えられることを知っていたのです。それは、究極的には神の御名が讃えられ、義に忠実である人々が神のもとに集められることに繋がるのです。

待合室で教会の全員のメンバーが待っていてくれました。そして、私の娘の容体が良くなった時、皆で神の御名を讃えたのです。絶望は希望へと変わり、希望は喜びへと変わり、喜びは讃美となったのです。「わたしは声を出して主に呼ばわり、声を出して主に願い求めます。あなたの御名に感謝するようにしてください。[そして]正しい者たちが私の回りに集まることでしょう」（詩篇147：1、7）。

讃美歌 310

祈り 神よ。いつも良くして下さり、誠実でいて下さりありがとうございます。御名を崇めます。絶望的な状況での祈りを捧げた時にも、優しく憐みを掛けて下さり、ありがとうございます。私がさらに御名を崇められますよう助けてください。

イエス様の御名を通してお祈り致します。

デイヴィッド・バーデン
アラバマ州 タスカルーサ

今日の力

2013年10月7日～10月13日

翻訳 伊藤若菜

編集 相川忠義

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

10月8日(火)

御心を見つける

聖書朗読 詩篇 148：1－14

主は、その民の角を上げられた。主のすべての聖徒たち、主の近くにいる民。イスラエルの子らの賛美を。ハレルヤ。 詩篇 148：14

「天において主をほめたたえよ」（148：1）とこの詩篇の著者は言います。天には全能の神がおられ、全てを支配されているのです。そのような天で神の名を讃えずにいられるでしょうか？ 天上の天使たちが神を讃美せずにはいられるわけがありません。天使たちは皆、主を讃美しています。それに比べたら、地上に生きている私は、一体どれだけ神を讃美できるのでしょうか？

「輝く星よ、主をほめたたえよ」（148：3）。神が造られた素晴らしい自然は、主の栄光を讃美しているのです。自然もまた、神を讃美せずにはいられないのです。自然は、創造主なる神の王権を讃えているのです。海でとどろいている波や、迫力ある雷、そういった自然の中に私たちが見ることが出来るものは皆、神の創造の業の素晴らしさを表そうとしているのです。自然はそうにして神を讃えています、私は、一体どれだけ神を讃美できるのでしょうか？

確かに「地の王たち」（148：11）が神に栄光を帰することはそんなに難しいことではありません。芸術家や賜物を持った人々 [を用いて、王たちは]、思う存分神の栄光を讃えるような作品をつくることが出来るでしょう。神を讃えたダビデのように、いつも神を讃美することが出来るでしょう。でも、王ではない私は、一体どれだけ神を讃美できるのでしょうか？

一般人である私たちについて、12節でようやく言及されています。天から一番遠い地上で、天を見上げている私たちです。私たちの讃美は、神に届くのでしょうか？

しかし、思い起こしましょう。礼拝は、主と「[心が] 主の近くにいる民」との交わりの場である、と言うことを。

讃美歌 第二編 161

祈り 私の知恵では理解を超えるようなすばらしい創造の業を遂げられ、人のかたちをとって救いの道を開いてくださった主よ。あなたが既に近くにおられることを気が付かせて下さい。私たちが御心になった生活が出来ますように助けてください。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

デイヴィッド・レムリー
カリフォルニア州 マリブ

10月8日(水)

私たちの人生の目的

聖書朗読 詩篇 150編

息のあるものはみな、主をたえよ。ハレルヤ。 詩篇 150：6

買い物に行って、肝心の買う予定だった物を買って忘れて家に戻った、なんて経験はありませんか？ 私は昨日、牛乳を買いに行ったのに、買い忘れて帰宅しました。それは大した問題ではありません。牛乳は私の人生の目的それ自体ではないからです。

旅が成功したかどうかの基準になるものは、どれだけ多くの品物を私たちが旅で持ち帰ってきたか、ではありません。成功した旅と言うのは、その旅の目的と言う点から測られるもののなのです。では、私たちが人生と呼ぶ旅の目的は何でしょうか？

よく言われることですが、人生の目的は「神を崇め、神の恵みに永遠に与ること」とであるとされています。実際、この見方は聖書的です。「わたしのために造ったこの民はわたしの栄誉を宣べ伝えよう」（イザヤ43：21）。私たちは丘の上で輝く光です（参照、マタイ5：16）。神の特別な所有とされた民（ペテロ第一2：9）とあるからです。世間は人を「消費者」と呼ぶでしょうが、私たちは地上でいろいろなものを手に入れ消費するために存在するのではなく、創造主である天の神を讃えるために存在しているのです。さあ、私たちに与えられているもっとも重要な存在目的を改めて確認しましょう。今日やるべきことが何であろうと、神様を第一に考えましょう。

讃美歌 338

祈り 父なる神よ。私たちに人生の目的を思い起こさせて下さい。あなたなしでは私たちの人生はありません。

イエス様の御名を通してお祈りいたします。

タイヤー・ソールズベリー
オハイオ州 トリード

10月9日(木)

神が愛されるもの

聖書朗読 箴言 1:1-7

富む者と貧しい者とは互いに会おう。これらすべてを造られたのは主である。利口な者はわざわいを見て、これを避け、わきまのない者は進んで行って、罰を受ける。謙遜と、主を恐れることの報いは、富と誉れといのちである。

箴言 22:2-4

「富む者と貧しい者とは互いに会おう。これらすべてを造られたのは主である」(箴言22:2)。この聖句から、神は私たちが貧しい人たちを助けることを望まれていることが分かります。この聖句は現代においても十分に適用されます。困っている人達を助けることが、私の生活の大部分を占めていると言えるでしょうか？ 私たちの行動は自分の欲を中心にした、みっともないものになってはいないでしょうか。困っている人々に目を留め助けることは、私たちが更なる祝福に与るうえで必要なことです。

「利口な者はわざわいを見て、これを避け、わきまのない者は進んで行って、罰を受ける」(箴言27:12)。つまり、賢い人々は罪の誘惑に気が付き、それを避けます。騙されやすい人々はそのまま足を踏み入れ、その結果は苦しみです。私たちは罪の誘惑に気が付いていますか？ それは、敵意、ゴシップ、プライドなどです。

「謙遜と、主を恐れることの報いは、富と誉れといのちである」(箴言22:4)。これが箴言全体のポイントです。神に対する畏れと尊敬です！ 神に対する畏れは、私たちの態度、意思、気持ち、行いで表されます。私たちは神が何を求めておられるかを意識しているのでしょうか？

讃美歌 333

祈り 父なる神よ。私たちの自己中心的な態度をお赦し下さい。貧しい人が傷つき、助けを必要としていることにすぐ気が付けないことも反省します。彼らのことを学び、助けられるようお力添え下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ビル・タイナー

テネシー州 ヘンダーソンヴィル

10月11日(金)

余計なことは口にしないこと

聖書朗読 箴言 12:21-23

利口な者は知識を隠し、愚かな者は自分の愚かさを言いふらす。

箴言 12:23

平和をつくる、ということは難しい！ 私の友人でとても優しい人がいたのですが、彼は、聞く耳を持つとしないような人とでも平和な関係を築きたいと努力しています。彼は、怒りっぽい人とでも、少しでも良い関係が築けるためには、何でも進んでするような人でした。しかし、怒りっぽい人と言うのは、そのようなせっかくの好意も無駄にしていまいます。

「彼は黙るということを知らないんだよ。ずっと一方的にしゃべり続けるんだよ」と困り果てた私の友人は言いました。だから、「私が伝えたいことを全く伝えられずにいるんだ」と言います。こういう人って、時々いませんか？

しゃべり続けることは賢明ではない、と箴言で警告されています。聖書の訳により多様に表現されていますが、「言いふらす」(新改訂標準訳)、「宣言する」(新欽定訳)「うっかり口走る」(新国際版) ような行為は愚かなことだと警告されています。もしもあなたが賢い人だと思われたいのであれば、箴言のアドバイスに従い、必要以上におしゃべりする人にならないよう気をつけましょう。

魂を解きほぐす優しい神の声をどう聞くことが出来ようか

あなたが話し過ぎる時、口にする必要のないことも口にしているのである

静かにしましょう、そうすれば神がまた話されるであろう

———— フェネロン

讃美歌 第二編 83

祈り 父よ。舌の制御の難しさをあなたは教えて下さいました。あなたの聖霊により、静かにいるべき時は静かにしていられるようお助け下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ジーン・シェルバーン

テキサス州 アメリオ

10月12日（土）

歳を取ったと感じますか？

聖書朗読 伝道者の書 12：1－14

私の目は悲しみのかすみ、私のからだは影のようだ。正しい者はこのことに驚き、罪のない者は神を敬わない者に向かって憤る。 ヨブ記 17：7～8

私は100歳まで生きることを目標としていました。でも、インフルエンザなどにかかると、その目標を達成できるか不安になったりしていました。51歳の時に、心臓発作を起こし、バイパス手術を受けました。医師は私に手術の必要性を説明すると共に、「奥さんに遺言状は書いてありますか？」「上司に最低3カ月は職場を離れることになることを伝えるように」、「神に祈り、心穏やかに過ごせるようにしなさい」と言いました。100歳まで生きる目標があるのに、まだまだ道半ばではないかとその時は思いましたが、今も私は生き続けています。

私たちは正確にいつまで生きるか分かりません。「あなたがたには、あすのことはわからないのです。あなたがたのいのちは、いったいどのようなものですか。あなたがたは、しばらくの間現れて、それから消えてしまう霧にすぎません」（ヤコブ4：14）。誰にも分からないのです。

ヨブ記の最後の章で全ての不幸が過ぎ去った後、ヨブはそこから140年生きました。彼はこの先何年生きるか知らなかったのです。もし、歳を取ったなあ、とったり、もう終わりが近いかもしれない、などと思うことがあった時には、主の救いを思い起こしましょう。もしかしたら今日も変わらず「ありふれた日常」の一日でしかないと感じる日もあるでしょう。そういう時でも、今日が地上の人生で最後の日となるかもしれないという思いを持って、優先順位と神への信頼を大切にして、生きてゆきましょう。

讃美歌 488

祈り 神よ。日々見守って下さることに感謝します。あなたが私たちに何を望まれているか示して下さい。将来のことについて、思い悩まず、あなたが全てを御手に治めておられていることを思い起こさせて下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ジョージV・モーテンセン
ワシントン州 カークランド

10月13日（日）

神よ、私をビックリさせて下さい

聖書朗読 イザヤ書 42：5～9

先の事は、見よ、すでに起こった。新しい事を、わたしは告げよう。それが起こる前に、あなたがたに聞かせよう。 イザヤ書 42：9

2年前の彼らの結婚式の際の喜びと、今回の喜びとは比較できないようなものでした。第一子の妊娠が分かった今、彼らは喜びの絶頂に居ます。不安なんて全くないのです。「この超音波写真見て！ 指をおしゃぶりしている所まで見えるのよ」と言った様子です。

神はいつも私たちに期待を抱かせて下さいます。御言葉は私たちの生活に置いて欠かせないものです。預言者たちはイエス様の到来を告げました。そして、本当にイエス様は来られました。そして、死に対する勝利を宣言され「あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです」（ヨハネ16：33）と言われました。イエス様は天に昇られる前に、賜物として聖霊を遣わされることを約束されました。私たちは難しい問題に直面しても、聖霊が助けて下さるのです。今の地上での生活の後には、イエス様が約束された永遠の命があるのです。

「それが起こる前に」と言うこと上掲の御言葉が真実であることを私たちは知っています。クリスチャンである者は新しく生まれ変わる人生を経験できるのです。両親が新しい赤ちゃんを心待ちにするように、私たちも楽しみにしましょう。神から示される道を求めて歩んで参りましょう。

讃美歌 270

祈り 神よ。あなたの存在に今日も驚かされます。私を御心のままに動かして下さい。私は大いに期待しています。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ボブ・マイズ
テキサス州 ラボック